



君の世界に芽生えるものは

くおんじゅく

久遠塾

vol. 41

久遠塾 ☎ 080-2182-1379 13:00~21:00
メールアドレス shiranuka.kuon@gmail.com

久遠塾 塾長

みなぞえ えいじ
皆添 英二

北海道合同研修会へ参加し全道各地から公営塾スタッフが集う

9月28日・29日の両日、プリマペンギンが主催する「北海道合同研修会」が開催され、全道各地から公営塾スタッフが集いました。私たちは、他の公営塾スタッフとお会いするのが初めてで少し緊張しました。

開催地は、北海道のほぼ中央に位置する『写真甲子園』で知られた「写真の町」東川町。自然豊かなキトウシ森林公園内の施設で行われました。



初日は自己紹介に続き、山道で拾った葉っぱや石、ドングリ、木の実などを使って、「わたしのいま」を説明するというのをやりました。

研修会には利尻町、大空町、厚真町、むかわ町、白糠町にある公営塾から9人のスタッフが参加。また、プリマペンギンから4人、東川町にある株式会社コンパスから職員2人の計15人が参加しました。

初日は、森林公園内にある「大正館」で株式会社コンパスの活動について職員から説明を聞きました。コンパスは、17・5歳以上なら年齢も国籍も問わず入学できるデンマークの全寮制学校「フォルケ（民衆の）ホイスコーレ（高等学校）」をモデルにしており『大人の人生の学校』と呼ばれています。

大人向けの学校ということで、高校生向けの久遠塾とは異なる部分もありますが、コンパスの「心に余白をつくる」という考え方から勉学に

没頭するだけが全てではない、という価値観を学んだことは、今後の生徒指導の参考になると思います。

その後は、東川町内を視察しました。視察先は「東川小学校・地域交流センター」や「東川町公民館」「東川町複合交流施設せんとびゅあⅡ」でした。特に目を引いたのは「東川小学校・地域交流センター」で、コミュニティ機能や学童保育が入る地域交流センター、小学校とを複合化したものです。また、サッカー場や野球場、体験農園や果樹園、プレイパークなどを備えた「ゆめ公園」と一体的に整備され、町の将来を担う子どもたちを地域ぐるみで育成しようという考えが伝わりました。

次に印象に残ったのは「東川町複合交流施設せんとびゅあⅡ」で、旧東川小学校の校庭にある芝生を生かした施設です。図書スペースは「ほんの森」を中心に大雪山アーカイブスや写真文化、家具デザインのコーナーなどが広々と配置されており、『図書館でもない、美術館でもない、博物館でもない』という独自スタイルの空間が広がる文化施設でした。施設の前には広大な芝生と小さな噴水があり、そこで子ども達が元気に遊び、大人も芝生に寝転んでくつろ



2日目に行ったワークショップの様子です。いろいろな意見を聞くことができ、充実した話し合いができました。

いでいたのが印象に残っています。

2日目は、前日に実施した視察内容と対話を振り返り、各地域での活動を考えるワークショップを行いました。最後に、2日間の研修を通しての感想と明日から実際にやってみようと思うことを1人ずつ発表し、研修を終えました。

私たちは「東川町で学んだことや他の公営塾スタッフと意見交換したことを踏まえ、生徒と地域住民が集まりやすい公営塾にするためにはどうするべきかを再認識し、明日からの塾の運営に生かしたい」という内容の発表をしました。

この研修で他の公営塾スタッフの皆さんと意見交換ができ、さまざまな気づきと学びを深めることができました。